



Race Report

16-18 November, 2012

triple a vantage GT3、最後の戦い 吉本大樹は決勝レース2の6番手グリッドを獲得

【公式練習】 天候：晴 | コース：ドライ | 気温/路面温度 開始12度/21度>終了:14度/24度

【公式予選】 天候：晴 | コース：ドライ | 気温：13度/路面温度:14度



劇的なエンディングとなったシリーズ最終戦からわずか3週間。まだ興奮も醒めやらぬ中、富士スプリントカップがいよいよスタート。金曜日は好天に恵まれ、頂に雪を乗せた富士山が青空をバックにくっきりと映っていた。

シリーズ最終戦終了直後に今シーズン限りでのチーム解散を発表していたA speed&triple a vantage GT3にとって最後のレースとなる今回。チーム立ち上げから3年間の苦楽を共にしてきた吉本大樹にとっても特別な思いを抱いてのレースとなった。そんななか行われた初日金曜日のフリー走行。するとその吉本はこのセッションでまずまずの走りを見せる。「性能調整で載せられたウェイトの影響で想定していたよりタイムが伸びなかった」という状態ながら、最終的に4番手タイムをマーク。セッション中に白煙を上げ一旦ピットに戻る事になった為、予選、決勝への影響が心配されたが、このトラブルはミッションからのオイル漏れが原因。「ネジがゆるんでいただけだったのでその後の走行には支障がなかった」と、まずは一安心。マシンのセットも進め、午後の公式予選に駒を進める事となった。

そして迎えた公式予選。今回のレースは第1レースと第2レースを別々のドライバーが単独で走る事になる為、予選も別々のセッションとして行われる事になる。吉本大樹が出走するのは日曜日に行われる決勝レース2。フリー走行で見たトップとのタイム差を少しでも詰めるべく、先のレース1予選に出走した星野選手はギャンプルにも近いセット変更を行いアタック。結果は良い方向には向かわず9番手に甘んじる事になったものの、このトライがレース2予選の吉本を救う事になる。

「あのチャレンジのおかげで自分の予選への方向性を決められた。男気のある予選だったと思います」と、自身の予選で好走。「ストレートが伸びなかったし、ウェイトを載せた影響でプレーキや3セクターが辛かった。」とは言うものの、吉本はこのレース2予選でセッション終了残り1分までトップに着けるアタックを披露。このセッションは時間の経過とともに気温も下がり、また路面にはラバーが乗ったこともあって終了間際のコンディションが最も良かった為、チェッカーと同時に最終アタックでタイムを伸ばしたマシンが多数おり最終的には6番手となったものの、決勝に向けては上位フィニッシュを狙えるポジションのスターティンググリッドを確保する事に成功した。

12' SUPER GT SERIES JAF SPRINT CUP_Fuji Speedway

2012.11.16 (Fri) Free Practice & Qualify

Text : www.hiroki-yoshimoto.com

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS



Race Report

16-18 November, 2012

吉本大樹、triple a vantage GT3 最後のレースで有終の美 6番グリッドから追い上げ、見事トップチェッカー!!

【決勝】 天候：晴れ | コース：ドライ | 気温/路面温度 開始：12度/12度 > 終了：13度/15度

第1レースが行われた土曜日とは打って変わって好天に恵まれた日曜日の富士スピードウェイ。吉本大樹のA speedでの最後のレースとなる決勝第2レースは絶好のコンディションの下で行われた。



6番グリッド吉本大樹の前からスタートを切るのは、PPi前日のレース1を制したNo.33 HANKOOK PORSCHE、2番手にはNo.88 マネパ ランボルギーニGT3、3番手にはNo.16 MUGEN CR-Z GT、4番手にNo.911 エンドレスTASAN 911、5番手がNo.3 S Road NDDP GT-R。そして迎えた注目のスタート、レースはここから波乱含みで始まった。なんとスタート直後の1コーナーで5番手からロケットスタートを決めたNo.3 S Road NDDP GT-Rの関口雄飛選手とNo.88 マネパ ランボルギーニGT3の織戸学選手、さらにNo.16 MUGEN CR-Z GTの武藤英紀選手が接触、1コーナーはこの混乱を避けるために各マシンが入り乱れる事に。ここで抜群のポジション取りで順位を上げてきたのがtriple a vantage GT3&吉本大樹。吉本はスタートの動き出しこそ若干遅れたものの、混乱の1コーナーを抜けた時点で3番手にポジションアップ、さらに続く100Rで2番手のNo.911 エンドレスTASAN 911をパス~2番手上がると、勢いそのままにトップを行くNo.33 HANKOOK PORSCHEの影山正美選手にプレッシャーをかけていく。

吉本はレースも4周目を過ぎたあたりからさらにペースアップ、一気にNo.33 HANKOOK PORSCHEの背後に張り付くと、8周目の100Rでこれをパス。なんと6番手スタートからわずか8周でトップに浮上して見せる。さらにそのまま後続を引き離しにかかる。しかしそれを許してくれなかったのはNo.2 エヴァンゲリオンRT初号機アップル紫電の加藤寛規選手。No.2 エヴァンゲリオンRT初号機アップル紫電は12周目には吉本大樹の背後1秒以内に迫ってくると、ここから両者の激しいトップ争いが始まった。各コーナーでプレッシャーをかけてくる紫電に対し、ガードを固め隙を見せない吉本大樹。両者の息の詰まるような戦いはレース終盤まで続く。しかし最後は、「紫電の加藤さんが張り付いたまま長い後半でした。ちゃんと加藤さんとバトルするのも始めて。両方のキャラクターを知る僕には有利な展開でしたが、全ラップ予選アタックなみにプッシュしました。」という吉本大樹に軍配が。最後はわずか1秒差で紫電を振り切り、そのまま嬉しいトップチェッカー。A speed&triple a vantage GT3の最後のレースで有終の美を飾り、2012年シーズンを締めくくる事となった。



12' SUPER GT SERIES JAF SPRINT CUP_Fuji Speedway
2012.11.18 (Sun) Final Race2
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

【Aspeed Official Site】 <http://www.aspeed.co.jp/>
【SUPER GT SERIES Official Site】 <http://www.supergt.net/jp/>
【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

BlackFlys

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com



Race Report

16-18 November, 2012

吉本大樹コメント

2010年、2011年とこのJAF戦では必ずトップ争いにいるパフォーマンスを持ちながら悔しい思いをしてきました。そしてそれ以上に、このレースがA speedにとって最後のレースとなるので自ずと気合いが入っていましたし、絶対に優勝しかイメージしていませんでした。突如ウエイトハンデを背負わされた影響もあり、思ったほどの速さを見せることはできなかったのですが、ガスを積んでもバランスの変わらないVantage GT3のキャラクターと、持ち込んだタイヤのコンパウンドを考えると決勝に向けては自信もありました。

予選で一樹君（星野選手）が、勇ましいトライをしてくれたおかげで自分のレース2に向けた予選へのマシンセットの方向性を決めることができました。土曜日の一樹君のレースはいきよりの雨で様々な確認ができなかった為、タイヤ選択を誤り残念なレースになってしまいましたね。僕が土曜日にドライブしていたとしても全く同じ事になってしまったのではないかと思います。自分が走る日曜日のレースでは一樹君のその無念を晴らす責任もあったし、これが本当の本当にA speed最後のレースだったので絶対に勝ちかたつた。

Vantage GT3は1速ギアがかなりロングなので、スタンディングスタートには不安がありました。実際スタートで出遅れてしまいポジションを落としましたが、結果的にこのおかげでアクシデントのあった1コーナーでのポジション取りが上手くいったのかもしれない。すぐに911号車をパスすることが出来ましたが、序盤はタイヤのウォームアップが悪かった。それでも数周すると適温に達し、33号車をパスすることができました。すぐ後ろに2号車が迫ってきていたのは知っていたし、レースになれば速い事も分かっていた。ある意味一番怖い敵でした。最後のラップまで一切気の抜けない、ミスはご法度の緊迫した状態でしたが、同時に楽しむ事もできました。短いはずなのに本当に長い22周でした。2012年最後のレースで、そしてA speed最後のレースを最高の締めくくり方で終わることができて本当に良かったです。また自分もお世話になった紫電のラストランを共に表彰台で称え合うことができて良かったです。

これで本当にA speedは解散します。チーム発足初年度からドライバーを務めさせて頂き、ドライバーとしても人としても様々な経験をさせて頂きました。チームのレベルアップにも貢献できたと思うし、トップチームにしていくという意欲を強くもったチームでした。そんなA speedに3年間お世話になったことを誇りに思います。いつも文句ばかり言うドライバーの意見を受け入れ続けてくれた瀬口監督、言葉数は少なくとも黙々とレースを戦い続けた伊藤エンジニアと松本さん、そして居なくなってしまったメカニックもいるけどこの3年間で携わってくれた全てのメカニックの皆さん、そしてドライバーのプライオリティーを尊重し、ドライバーのやりやすい環境を作るように指示し、チームをサポートし続けて下さったtriple a出版の高木社長には心から感謝します。初年度に色々な事を教えてくれたチームメイトの松田選手、そして共に喜び、悲しみ、笑い、怒った最高のチームメイト星野選手。全てが素晴らしい思い出となります。

素晴らしい3年間をありがとうございました。そしてA speedを応援して下さいました全ての皆様ありがとうございました。胸を張って卒業します。

PHOTO



【Aspeed Official Site】 <http://www.aspeed.co.jp/>

【SUPER GT SERIES Official Site】 <http://www.supergt.net/jp/>

【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS